



12/26(木) ちゅううちな一草の根平和貢献

「第1回ちゅううちな一草の根平和貢献賞」の表彰式が沖縄県庁で行われました。この賞は、県内で平和につながる身近な社会貢献活動に取り組む個人や団体等を表彰するもので、浦添地域の史跡や戦跡を案内している「うらそえ歴史ガイド友の会」が一般の部門に選ばれました。戦争体験者が減少する中、戦争体験を語り継ぎながらガイドを育成し、市民に留まらず県民、観光客、次代を担う子どもたちに戦争の悲惨さと平和の尊さを伝え続けていることが評価されました。理事長の栗森弘政さんは「この受賞を新たな第一歩として、戦争体験者の聞き取りや戦記をもっと勉強し、浦添の子どもたちを中心として平和学習に力を入れていきたい」と決意を新たにしました。



12/25(水) 組踊創始者 玉城朝薫の家譜寄贈

国の重要無形文化財「組踊」創始者の玉城朝薫の「家譜」が所蔵者から市教育委員会へ寄贈されました。家譜には朝薫の生い立ちや家族構成、江戸立ちや冊封歓待で初めて組踊を上演したことなどが記されていて、朝薫の実像を知る貴重な史料として知られています。玉城朝薫の家譜の原本が公開されるのは約35年ぶり、2月24日まで浦添市美術館で一般公開される予定です。高元教育長は「首里城の消失事故以降、琉球王国の歴史を振り返る機運が県民の中で高まっている。この機会を生かしていくのが使命だと思う」と話しました。



1/8(水) 新年の門出を市民と祝う

新年祝賀会がANA ARENA 浦添（浦添市民体育館）で開催され、市内外から約1200人の企業や団体の関係者が参加しました。太鼓やかぎやで風で華やかに始まった祝賀会は、鏡開きの後の乾杯で懇談に移り、参加者は和やかな雰囲気の中、新年のあいさつを交わしました。松本市長は「今年度、浦添市は市政施行50周年で大きな節目を迎えます。市民の皆さんが安心して暮らせるように、これからも躍進と進化を続けていきたい」と新年の抱負を述べました。同日、浦添市消防本部では、災害のない安全安心なまちづくりの実現と市民の防災意識の高揚、消防体制の充実を図ることを目的に出初式も行われました。



市制施行50周年記念事業

2020年7月1日は浦添市50歳の誕生日！節目を祝い、市全体の機運を高めるため、さまざまな記念事業を行っています。2020年と同じ50周年を迎える名護市とのコラボ企画も実施！

12/23(月) 浦添市×名護市コラボ企画 うらそえ織販売会in名護市



名護市役所1階ロビーで、島桑関連商品とうらそえ織の販売会が行われました。うらそえ織はキーホルダーやショールの売れ行きが良く、島桑関連商品はてだ桑茶や桑の実の酢の試飲を行ったところ「おいしい」という声が多くあり、酢は売切れになるなど大盛況でした。



1/9(木) 人権擁護委員委嘱状伝達式

人権擁護委員の委嘱状伝達式が市長応接室で行われました。人権擁護委員は人権相談および人権教室など、人権への理解促進のための啓発活動を行っています。今回、西銘生弘さん、大城美保さん、棚原利栄子さん、棚原洋子さんの4人が令和2年1月1日から令和4年12月31日の再任となりました。

棚原利栄さんは「人権教室で各学校をまわり、浦添市の子どもたちの明るさに勇気づけられた。新たな3年間も頑張っていきたい」と意気込みを語りました。松本市長は「人権問題が複雑化している中で、人権に関する相談や依頼をいろいろ受けると思いますが、みなさんの良き心の支えになっていただきたい」と期待を込めました。



12/19(木) ミュール・ドゥ・ソレイユ お披露目・販売イベント

2019年産桑の実ワイン「ミュール・ドゥ・ソレイユ」のお披露目・販売イベントが市役所9階展望ロビーで開催されました。このワインは浦添市産の桑の実と北海道厚真町産ハスカップを原料に生産されたもので、程よい酸味と甘みがあるのが特徴です。

イベントでは数量限定のボトルワイン販売、その場で楽しめるグラスワイン販売、厚真町のジンギスカンやハスカップドリンクなどの物産販売も同時に行われました。会場からは「さらっとしていて飲みやすい。甘すぎないので食事に合う」「父の誕生日プレゼントに限定のワインを買い手ができて嬉しい」という声があり、貴重な販売会を楽しんでいました。



12/17(火) 祝！入館者200万人達成！

令和元年12月17日午後1時頃、浦添市立図書館リニューアルオープンに伴うICゲート設置（平成20年5月31日）から入館者数200万人目の来館者を迎え、認定証の授与式を行いました。

200万人目の入館者となったのは、子どもの絵本や紙芝居を借りに来館した嘉陽さん。授与式では、上里浦添市立図書館長から認定証と記念品『うらそえ織ペンケース』が進呈されました。上里館長は「このたび来館者200万人達成という大きな節目を迎えることができました。今後も子どもから大人まで、利用者に愛される図書館をめざして努力していきます」と喜びを語りました。